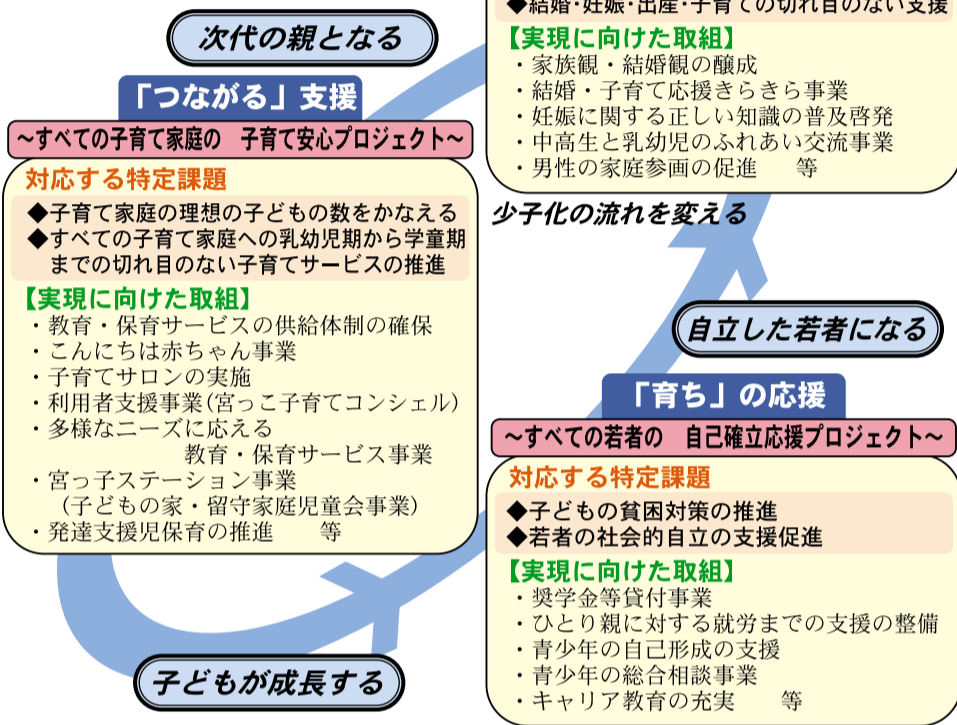


# 結婚から子育てまで

## 切れ目のない支援に取り組んでいます。

### ◆「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」リーディングプロジェクト

少子化の流れを変えるため、喫緊の対応が必要な特定課題に対して、3つのリーディングプロジェクトを設定し、最優先に取り組む。



宇都宮市では、平成29年度に人口のピークを迎え、その後、本格的な人口減少・少子超高齢化社会となることが予想されています。市では、これに対応するため27年度に、市の人口の現状と将来の展望を提示する「宇都宮市人口ビジョン」及び、今後5カ年の目標と取り組みを示す「宇都宮市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとしています。

「総合戦略」では、人口減少対策の鍵となる、「人口の自然増」「人口の社会増」「都市基盤の形成」の視点に立った目標や取り組みを検討し、その中で、「人口の自然増」の取り組みとして、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策についても取りまとめることとなっていますが、自由民主党議員会では、このような施策が大変重要であると考えております。

今後も市民の皆様のご意見・ご要望等をお聞きし、市に要望してまいりますので、ぜひご意見をお寄せください。



平成27年度予算に計上された子育て支援に係る主な取り組み

### 子ども・子育て支援新制度の実施

教育・保育施設等への給付・助成の拡充  
教育・保育施設等の整備促進

認定こども園の整備や、保育所の増改築、地域型保育事業の整備を実施し、32か所の施設で、合わせて定員を526名増

子どもの家事業の充実  
概ね10歳未満の小学生から、全学年へ受入を拡大  
1クラス当たりの人数を70人以下から60人以下に減らし、指導員数を拡充し、よりきめ細かい対応を実施

### 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

結婚の希望をかなえる支援  
結婚観醸成のためのライフデザイン支援事業として、若年層対象のライフプラン形成支援セミナーや、結婚を希望する男女向け自己啓発セミナーの開催  
働きやすい職場環境づくりを推進するため、事業所等への啓発事業を実施  
身近なボランティア活動

を通じた若者の交流・コミュニケーションの場の提供  
結婚・育児アドバイス紹介集の作成  
本市独自の子育て支援の充実

保育料の軽減を拡大  
世帯の所得に応じ、本市独自に保育料軽減を拡大  
教育・保育施設等への助成

発達支援児保育事業費補助金を拡充し、発達支援児を受け入れる保育所等の人件費・設備費の助成を拡大  
アレルギー対応給食提供事業費補助金を創設し、食物アレルギー疾患をもつ児童への対応に必要な人件費を助成

看護師等雇用費補助金を創設し、児童の健康管理の充実を図るため、看護師等の確保に必要な人件費を助成  
認可外保育施設利用児童支援費補助金を創設し、保育の必要性の支給認定を受けても、認可施設が利用できないため認可外保育施設を利用する世帯へ利用料の一部を助成

返還免除型育英修学資金貸付制度を創設し、大学等への入学者を対象に、教育費の負担軽減と本市

への定住促進を図るため、一定期間の居住を条件に返還を免除する。(27年度は制度周知と募集、28年度から貸付開始)  
こども医療費助成制度において、小学校6年生まで医療機関での支払いが不要

こども医療費の助成対象年齢については、先の第一回定例会一般質問で、佐藤市長から、平成28年度中に中学三年生まで拡大するとの方針が示されました。

### ひとり親家庭の自立支援の充実

ひとり親の就労、生活、子育て支援の充実  
現在の手当等を再編し、生活面と就労による自立を支援するひとり親家庭支援手当を支給するとともに、企業との連携による就労支援事業の拡充や、ファミリーサポートセンター利用料の一部助成などを実施  
婚姻歴のないひとり親家庭への支援の充実  
婚姻歴のないひとり親家庭に対し、子育てサービス等の負担軽減等を図るため、税法上の寡婦(夫)と同様の扱いとすることとし、保育料などを軽減